

領事サービスセンターからの連絡事項

平成22年4月12日
領事サービスセンター

1. イスタンブール（トルコ）「最近の総領事館管轄地域における邦人の犯罪被害例」

(1) 「絨毯詐欺被害等に関する注意喚起」悪質絨毯屋にお気をつけください！

前回の本件連絡会でもお伝えしましたが、残念ながらスルタンアフメット地区の特定の悪質絨毯屋による被害があとを絶ちません。昨年から同店関係者による店内監禁、威嚇行為による絨毯の押し売りや、性的暴行等の被害にあった等の苦情が相次いで総領事館に寄せられております。手口は同地区付近を一人で歩いている特に女性旅行者を狙って日本語で話しかけ、親切に案内したりごちそうする等して警戒心を解かせた上で絨毯屋に誘い込み犯行に及ぶというものです。

(2) 女性を標的とした悪質な声かけ犯に関する注意喚起

女性の邦人短期旅行者が、旧市街ギュルハネ公園沿いの城壁近辺（トルコ国鉄高架下）において性的被害に遭いました。外国人男性に話しかけられ、道案内をしてくれるとのことについていったところで被害に遭いました。

観光地で親しげに話しかけてくる外国人がいても、絶対に気を許さず、相手の下心や犯罪行為や危険に巻き込まれる可能性を考え、無視したり、近くの人や商店、レストラン等に助けを求めるなど、きっぱり拒否する態度を示すことが重要です。

(3) 白昼、ルメイリヒサル界隈で車を運転するトルコ人に車内に引きずり込まれそうになった事案が発生しました。

(4) スルタンアフメット地区所在のATMでクレジットカードを盗まれ限度額一杯まで引き下ろされた事案が発生しました。背後にいた2名の男性から話しかけられているうちに、カードをATMから抜き取られ、入力中の暗証番号を覚えられ、近くのATMで急いでキャッシングしたのであろうとのことです。

(5) 高額タクシー料金を請求される事案が発生しました。メーターのあがる度合いがいつもより早かったということです。

(6) トプカプ宮殿、ブルーモスクなどの観光地での旅券盗難が頻発しています。

人通りの少ない場所での単独行動は控える、不審者がいないか常に気をつける、所持品には十分気をつける等の注意が必要です。

2. 高山病「邦人旅行者への入院」(ポリビア)

邦人旅行者がウユニ塩湖観光中に意識不明で倒れ、入院するという事案が発生しました。幸い回復して帰国することができましたが、高地への旅行者への高山病に対する十分な注意喚起を重ねてお願いします。

3. 海外旅行保険への加入

(1) 青島

脳出血で倒れた邦人男性が現地で入院後、本邦へ移送されました。欧米に比較し医療費が安価であると思われがちな中国ですが、集中治療室での入院費用が1日あたり5千元(約75000円)、のべ1ヶ月で200万円以上、中国国内の救急搬送費も想定外の高額な費用がかかりました。しかし、同人は海外旅行保険に未加入であったため高額な医療費が全

額自己負担となりました。

中国等途上国への渡航者に対しても、海外旅行保険加入の推奨方をお願いします。

(2) 韓国における大型邦人負傷事故

約1千7百名の邦人観光客を対象に実施されたアニメ版「冬のソナタ」撮影現場において、強風を受けて撮影用ひな壇が崩れ、飛来物等によって邦人女性30名が負傷する事故が発生しました。海外旅行保険に加入していた方は少数でした。

韓国等近隣・短期の渡航者に対しても、引き続き海外旅行保険加入の推奨方をお願いします。

4. 南ア治安情勢（ケープタウン市内主要観光地における連続強盗事件）

2月中旬、現地主要紙によると邦人観光客も多数訪れるシグナル・ヒルで次の連続強盗事件が発生しました。同地を旅行される際は十分ご注意ください。

(1) 早朝、観光中のアメリカ人バックパッカーが銃で武装した強盗1名に恐れリュックサックを渡すように要求されたところ、拒否したため銃で襲いかかられ、両手に切り傷を負いました。

(2) 観光中だった3人の留学生が木陰から出てきた3人組の強盗に金品を渡すように要求され、現金、携帯電話、デジタルカメラ、及び腕時計を奪われました。

5. ペルー：ナスカにおける小型飛行機墜落事故に関する注意喚起

「ナスカの地上絵」上空の遊覧飛行の際、小型飛行機の墜落事故及び緊急着陸事故が発生しました。事故原因として遊覧飛行業界の現状が問題視されており、取扱い業者数十社の多くが1960年～70年代の古い機体を使用して営業している他、過当競争激化による航空賃の値下げから機体の維持費削減、操縦士の訓練が不十分等が上げられています。つきまして、信頼できる旅行代理店を通じて最新情報の入手を心がけ、安全な遊覧飛行会社の選定、更には万一に備え海外旅行保険の確認等に努めて頂きたいとお願いいたします。

6. ギリシャ：深夜到着後の行動に対する注意喚起

3月上旬、アテネ中心部において日本から来たばかりの観光客が刃物を所持した強盗7人に金品を強奪される事件が発生しました。アテネに深夜到着し、空港からのバスを下車した後に歩いてホテルを探している最中の出来事でした。

深夜に到着する場合は、安全のためにも、次のとおり行動されることをお勧めします。

(1) アテネ空港に隣接するホテルでとりあえず休憩、あるいは宿泊する。

(2) 空港からタクシーを利用し予約ホテルまで直行する。

(3) 予めホテルの送迎サービスを予約する。

(4) 深夜到着便を避け、到着が昼間となるよう調節する。

7. インドネシア：スカルノハッタ国際空港における外国人の指紋等個人認証情報の提供制度導入に係る試験運用の開始について

本年10月1日よりテロリストの流入を防ぐために、外国人の入国審査時に指紋等個人認証情報の提供が義務づけられることになる模様であり、3月31日より、スカルノハッタ国際空港において試験的な指紋採取等の運用が開始されました（今後各地の空港等で同試験運用が拡大されていく見込みです）。同空港では飛行機を降りてから入管ゲートを通ずるまでに1～2時間を要する状況になっていますので、ご注意ください。また、空港の駐車場やアクセス道路についても混雑しているため、出国の際にも余裕を持って空港に向かわれることをお勧めします。